

★戦争認識と戦争教育の難しさ★<世界史最終講>

(正しい戦争教育とは何か？世界史を学んだ君たちへ ～後世に伝えて欲しいこと～)

主観的ではなく、感情的ではなく、客観的に、建設的に考えてみてください…

①知って欲しいではなく、知りたいと思うこと…？

- ※ なぜ、アジアの人々は日本人に憎しみを覚えるのでしょうか？
なぜ、ドイツ人はヨーロッパの多くの人々に憎まれていないのでしょうか？
 - ※ 中国や韓国をはじめとする国家的戦略としての反日教育だけが、日本嫌いの原因なのでしょうか？
世界が日本を知るように、日本は世界のことを知っていますか？知らないで語っていること、ありませんか？
- ⇒ 相手のことを知らず、ただの先入観や自分の尺度で見ようとする姿に「平和」はありません。
「マスコミ」を信じていますか？テレビや雑誌の情報を鵜呑みにしていませんか？
思ったら言えば良い？「沈黙」も大切な戦いであることを大切にしてください。

②“戦争の加害者と被害者とは一体誰なのでしょう？”

戦争とは・・・国家×国家 であり 個人×個人 であってはいけない。
外交手段 であり 感情の暴発 であってはいけない。

よって、加害者は、すべての()であり、被害者は、すべての()のです。

17世紀の()戦争から、「戦争」は形を変えました…
()出身の平和思想家< >が、こう言いました…

「戦争にはルールがあり、兵士と兵士との戦いでなければいけないと…」

18世紀末の()出身の平和思想家・哲学者< >も、こう言いました…

「ルールを遵守させるための国際平和機関の存在が必要だと…」

しかし、近代以降多くの平和思想家の努力も虚しく、そのルールは侵されてきました。

勝つためには手段を選ばないという理念のもと、

「()戦」という過ちまで犯し続け、今に至っているのです。

- ※ 南京大虐殺で殺された中国人の数は 30 万人だったのでしょうか？ 2つの原爆投下は人類にとって正しかったのでしょうか？ これらのことを論戦し合うことは、本当に必要なことなのでしょうか？
- ※ 自分の国を愛すると言うことは、国のために死ぬと言うことなのでしょうか？
オリンピックで日本を応援するだけでは、国を愛することにはならないのでしょうか？
- ※ 戦争反対！人権擁護！と叫びデモをすることで、政治家は戦争をやめ、世界から戦争は消えるのでしょうか？ それ反対に政治家を強固な態度にしているということはないのでしょうか？
いつの時代も、多くの政治家は当選すると保身に走り、選挙になると良いことしか言いません。
しかし、その政治家を選んでいるのが国民自身であることを忘れてはなりません。
- ※ 恨みや憎しみは、世代を越え、民族・宗教対立という名を借りた戦争が生まれる事実……
世界の多くの宗教・民族は互いを理解し合い、共存することは出来ないのでしょうか？
シンガポールやドバイに争いはない。それはなぜかということに対する簡単な答えとは何でしょうか？

～1年間、世界史という「グローバルな観点」から多くの戦争や戦いを学んだ君だからこそ、
入試だけのモノではなく、世界の中で生きていくことを本気で考えてみてください。～

長い歴史の中で、多くの人々は殺し合い、多くの人々が悲痛な叫び声をあげ、多くの人々が平和であることを願いました。
しかし、常に悲劇は繰り返され、その思いは歴史の跡地となりました。僕は、そんな多くの跡地を、この足で歩き、この目で見、
この身体で感じ続けています。そして、**争う彼らに必要なものとは何なのか**を自分なりに考えてみました。

少しの臆病 と 少しの勇氣 と 多くの理性 と 多くの慈悲 そう感じています。

③入試に出るその後の日本史

1945年～:GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の支配 … **マッカーサー元帥**

1946～48年:**極東国際軍事裁判**(東京裁判) … A級戦犯、**巣鴨プリズン**、**パール判事**

1951年:**サンフランシスコ講和会議** … 日本**の独立承認**<吉田茂>

日米安全保障条約 ***警察予備隊**の結成

1956年:**日ソ共同宣言**<鳩山一郎> … ソ連による承認 → **国連加盟**

1965年:日韓基本条約

1968年:小笠原返還

1972年:**沖縄返還**<佐藤栄作>、**日中共同宣言**<田中角栄>

1978年:**日中平和友好条約**<福田赳夫>